

# 相良村まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

## 人口ビジョン

### 中長期展望(2060年を視野)

#### I 人口の現状

- (1) 相良村の人口  
4,614人(2014年)  
1955年の8,809人を境に総人口が減少  
65歳以上の老年人口は増加傾向にあり、2014年の総人口比は36.8%
- (2) 自然増減及び社会増減  
自然増減 59人(2013年)  
合計特殊出生率 1.86(2012年)(全国1.41)  
社会増減 65人(2013年)  
主な転出超過先  
錦町24人、熊本市16人、人吉市11人、県内その他6人  
転出超過の主な年齢層  
15歳から29歳で147人

#### 将来展望

- 合計特殊出生率が  
2030年から 1.90  
2045年から 1.95  
2060年に 2.00  
かつ社会減が  
2030年以降半減

2060年人口推計 2,427人

社人研 推計に準拠すると

2060年人口 1,889人

社人研

国立社会保障・人口問題研究所

## 総合戦略(2015~2019年度の5か年)

### 基本目標

#### 安定した雇用を創出する【雇用・産業】

数値目標  
新規雇用創出数 16人

#### 新たな人の流れをつくる【移住・定住】

数値目標  
人口減少抑制人数 76人

#### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる【子育て・教育】

数値目標  
合計特殊出生率 1.86を維持

#### 時代にあった地域をつくり安心な暮らしを守る【福祉・生活・交通・防災・等】

数値目標  
村民が住みやすいと思う割合 40.0%

### 主な施策

#### 農林水産業の振興

農業生産基盤の整備、農業担い手確保、農林等新規就労者育成、農林業研修等支援、農業参入支援、地域営農組織及び受託組織支援、畜産振興対策、林産振興対策、有害鳥獣被害対策

#### 活力ある産地づくり

相良ブランド化推進、くまもと県南フードバレー構想の推進、6次産業化の推進、特産品開発支援

#### 商工業の振興

商工振興活性化補助、地域力活用ビジネス創出支援、ふるさと納税の返礼品での特産品の活用、人吉・球磨地域で連携した企業誘致

#### 移住・定住の促進

暮らしや相良村の魅力に関する情報発信(ポータルサイト構築)、移住支援制度の創設、空き家バンクの充実及び空き家利活用の促進、生活環境の整備

#### 交流人口の拡大

グリーンツーリズム等の展開、地域間交流施設等の拠点づくり、日本遺産等を活用した広域連携観光事業、村のホームページやフェイスブック等を活用した情報発信の充実

#### 子育て支援

子育て支援サービスの充実、保育サービスの充実、子育て世代の経済的負担の軽減対策、学童保育等の充実、地元の食材を使った給食の推進

#### 教育の充実

郷土愛を育む教育の推進、外国語指導助手配置、補助教諭の配置、放課後活動支援、ICTを活用した教育環境の整備

#### 健康づくりの推進

健康教室の開催、特定健診受診の推進、高齢者等支援事業、地域包括支援事業の推進、介護予防の推進、高齢者の社会参加の支援

#### 快適な生活環境の整備

住環境改善支援、高齢者等支援事業、村道等改良事業、交通体系等の改善、スクールバス利活用の検討

#### 安全なむらづくりの推進

消防団員の確保、自主防災組織の育成、防災マップ作成等支援、防災備蓄品の充実

#### 地域コミュニティの活性化

地域づくり事業補助事業の推進、地域集会所等の整備、地域コミュニティ拠点の整備

### 主な重要業績評価指標(KPI)

- 新規就農者：5年間で5人増
- 新規林業従事者：5年間で5人増
- 農林水産業生産額(H31)  
：2,700百万円
- 鳥獣害被害額(H31)：3,280千円
- 商品開発数：2品
- 立地企業による雇用者数  
：5年間で6人増

- 転入者数(H31)：696人を維持
- 空き家バンク登録件数(H31)：5件
- 観光客入込客数(H31)：150,000人
- Facebook「いいね」数(H31)：700

- 第3子支援対象世帯数(H31)：25世帯
- 学校給食への村内産物利用率(H31)  
：65%
- ICT機器(タブレット)の導入(H31)  
：400台

- 特定健康診査受診率(H31)：60.0%
- 住宅改修件数(年間)(H31)：15件
- 自主防災組織数(H31)：18行政区  
：18行政区
- 地域づくり事業補助金実施数(H31)  
：1箇所